

事務事業名		車両運行管理事務		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業										
政策体系	政策名	07 自立した行政経営の確立		事業期間		予算科目										
	施策名	31 健全な財政運営の推進				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	会計	款	項	目	事業					
	基本事業名	01 自主財源の確保と公有財産等の適正管理					01	02	01	05	05					
根拠法令	地方自治法(財産)、地方財政法第8条		事務事業区分		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)											
所属	部課名	総務部財政課														
	課長名	佐藤 雅俊														
	係名	車両係	電話	0192-27-3111												
	担当者	今川 寿弘	内線	237												
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								全体計画(※期間限定複数年度のみ)								
① 集中管理車両(財政課で管理し、職員が予約システムにより予約して使用できる車、以下「集中管理車両」という。)の運行管理 ・車両係が所管する車両(バス等)を適正に運行する。 ・集中管理車両の運行日数、運行時間、運行距離、使用燃料を確認し、当該車両が適正に運行されているか確認する。 ・各課等の所管車両の運行日数、運行時間、運行距離、使用燃料を確認し、当該車両が適正に運行されているか確認する。 ② 集中管理車両の整備、管理 ・集中管理車両のタイヤ交換、エンジンオイル交換の業者依頼、その消耗品の補充及び車両検査の業者依頼等を適正に行う。 ③ 集中管理車両の増車 ・各課等の所管車両を当課に移管し、集中管理車両を増加させる。 ④ 公用車の小型化 ・市の公用車全体の小型化を進める。 ・事業費は、集中管理車の燃料代及び整備代等である。								総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金						
									財源内訳	都道府県支出金						
										地方債						
										その他						
										一般財源						
									事業費計(A)				0			
								人件費	正規職員従事人数							
									延べ業務時間							
									人件費計(B)				0			
								トータルコスト(A)+(B)					0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
集中管理車を適正に運行及び管理した。また、市内の各課等の所管する車両が適正に運行されているか確認した。		ア	集中管理車(財政課で管理し、職員が自由に予約して運行できる車両)
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
集中管理車を適正に運行及び管理するとともに、可能な場合には他課の車両を集中管理車へ所管替える。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
公用車		名称	
		カ	公用車(リース車両を除く)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	
公用車の運行管理を徹底させる。		ク	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
公用車の安全管理が図られるとともに、効率的な財政運営が図られる。		名称	
		サ	公用車に占める集中管理車の率
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度				元年度(目標)	2年度(目標)
				27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)		
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	7,204	10,322	13,948	9,421	8,000	8,000
		事業費計(A)	千円	7,204	10,322	13,948	9,421	8,000	8,000
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
		人件費計(B)	千円	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
	トータルコスト(A)+(B)		千円	16,004	19,122	22,748	18,221	16,800	16,800
⑤活動指標	ア	台		19	21	22	20	20	20
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	台		118	118	116	110	110	110
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	%		16.1	17.8	19.0	18.2	18.2	18.2
	シ								
	ス								

事務事業ID	0055	事務事業名	車両運行管理事務
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和27年の市制施行以来、市の公用車の運行を導入し、運行管理することになった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成13年11月の三陸町との合併等により、管理する車両及び業務量が増加した。 また、近年の地球温暖化に配慮するため、車両の効率的な運行が求められるようになった。 東日本大震災以降、各方面から自動車の寄附・無償貸与等があり、保有・管理する車両台数が増加した。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	町内会やスポーツ少年団等の団体などから、市バスを運行してほしいとの要望がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現状では、各課の所管車両を集中管理車化するのは難しい状況だが、全庁的なコンセンサスを得て、徐々に集中管理車化を図り、市全体の車両管理費の削減を進める。 集中管理車は年間走行距離が他課の車両と比較して非常に多いため、消耗が激しく、修理費用が増加している。そのため、将来的には車両をリース方式に変更することも検討する必要がある。(例えばリース期間を5年間とし、順次車両を更新する等)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	●		×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	復興事業に対応するため、公用車の台数が増加しているが、公用車の減車、小型化及び低燃費化とともに、集中管理を計画的に実施する必要がある。